



MEG建築設計事務所  
(神戸市中央区)  
矢代 恵さん

フトアートフェアの企画まで約4年間活動し、活力を取り戻す姿を見守った。

2002~03年には「京都の30年後の良質な街並み」をコンセプトとした「北大路まちなか住宅コラボレーション」に参加。文教施設が集積し、成熟した住宅街でもある北大路の一角(8区画)に、8人の建築家がコラボレーションして街並みをつくるプロジェクト。

建売住宅の場合、不特定

シリーズ

女性の視点で描く

建築

全5回-⑤

入れる空間に。玄関スペースを広くとり、仕事の打ち合わせや井戸端会議など、出会いの場を創出。

「参加した建築家と街並みについてディスカッショ

ンを重ねましたが、ここでのキーワードは「コミュニティ」でした。今でも良好な近所付き合いが続いていると聞きますので、8人の建築家のDNAが受け継がれているようで

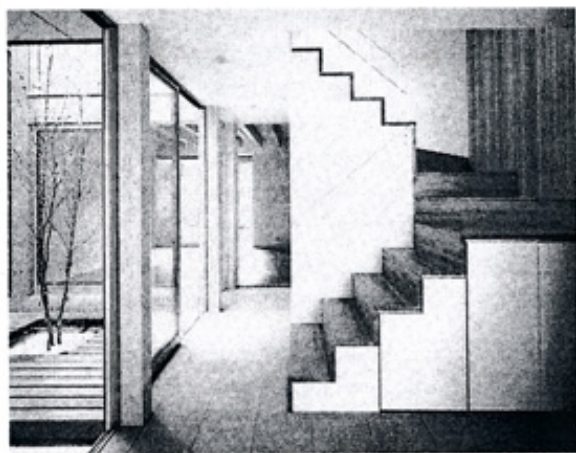
# 空気をデザインする

【プロフィール】1960年3月和歌山市生まれ。82年大阪市立大学生生活科学部住居学科卒業後、大阪ガス住宅設備入社。88年ks建築設計事務所参加、89年MEG建築設計事務所を開設。98年から神戸松蔭女子学院短期大学非常勤講師を勤める

や生活の仕方が変化しても対応できる、柔らかい空間を大切に

多数の人が入居を希望する造りにするが、あえて自宅で仕事をする小家族をターゲットに絞った。それが「SOHOのある家」。

外部に対し開放的なプランとし、1階部分はどこからでも土足で



SOHOのある家(2003年) / 撮影・市川かおり

うれしい」

港と都市で栄えた神戸において、魅力が最大限に生かされていないのが六甲山だという。「海が見えて夜景もきれい。ロケーションは最高なのに、あまり評価されていませんよね」。六甲山を活性化させ、その魅力を世界に発信するために、さまざまなアーティストとコラボレーションすることを目標としている。

(報道部=菊池勇二)

空間をデザインする。それは単に形を描くだけでなく、においや音、時間といったものを五感、六感を通して感じる「空気をデザイン」すること。自然環境との対話から読み取り、快適なもの、感動を生むものは何かをイメージしながら形にする。そして、「家族構成

をしています」。

大阪の西天満に事務所を開設したが、阪神・淡路大震災を機に神戸に移転。「復興のために自分に何ができるのか」。神戸の人たちが、再び夢を抱けるようなまちづくりに携わりたいと、神戸のシンボルであるトアロードの再生に注力。まちづくりのビジョンから、クラ